

製品名: NR5A2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe83953**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.59mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000
分子量	Calculated MW: 61 kDa ; Observed MW: 65 kDa

抗原情報

遺伝子名	NR5A2
別名	B1-binding factor; B1F2; CPF; CYP7A promoter-binding factor; FTF; FTZ F1; FTZ F1beta; FTZ-F1; FTZ-F1beta; hB1F 2; hB1F-2; LRH1; Nr5a2;;NR5A2
遺伝子 ID	
SwissProt ID	O00482
免疫原	ヒト NR5A2 由来の合成ペプチド

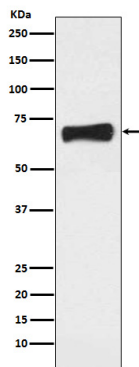
背景

胆汁酸合成、コレステロール恒常性維持、トリグリセリド合成に関与する遺伝子の発現を制御することで、重要な代謝センサーとして機能する核内受容体。オキシステロール受容体 NR1H3/LXR- α および NR1H2/LXR- β とともに、脂質代謝の重要な転写調節因子として機能する。コリプレッサーとして作用することで、肝急性期反応における抗炎症作用を発揮する。また、N-Cor コリプレッサー複合体の解離を阻害することで、肝急性期反応を阻害する。

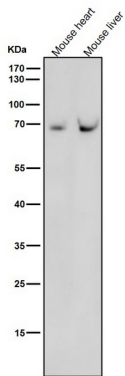
研究分野

-

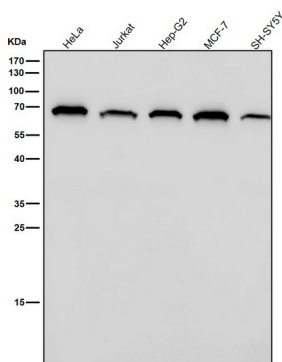
画像データ



MCF7 細胞溶解物における NR5A2 発現のウェスタンブロット解析。



すべてのレーンでは、抗体を 1:2K 希釈で室温で 1 時間使用します。



すべてのレーンでは、抗体を 1:2K 希釈で室温で 1 時間使用します。